

# じゅど 新聞

## JADDOへの入会、ありがとうございます。

JADDOへの入会、誠にありがとうございます。

1992年12月から細々と続けてきましたが、会則等作り声をかけていただいたところ、賛同くださる方が大勢、会員になってくださりありがたく思います。皆様からの会費を無駄の無いよう、アジアの途上国の子供たちに届けます。これからも、よろしくご指導、ご援助くださいますようお願いいたします。(JADDO規約をお届けいたします。ご意見いただければ幸いです。) 会長：帖佐理子

### ＝ 報告 ＝

10月 ドンカルム村小学校へ井戸掘  
の費用(760ドル)を渡す。

12月 ターラート村小学校へ学用品  
を届ける。

諸種の事情で、出発が遅れておりますが、そろそろ帖佐理子がラオスへ居を移します。ラオスだよりを楽しみにしてください。



上：ピエンチャン市内にて中華饅頭を売る女の子

.....ピーマイ(ラオスの正月)のパレード、古都ルアンパバーンにて.....裏面記事を参照ください。.....

左：旧王宮前を通るパレード。今年の山車(猪)に乗るミス・ルアンパバーン

右：プーニュー(先祖：男)、ニャーニュー(先祖：女)、獅子



# ラオスの生活 \*ピーマイ\*

ピーマイとはラオスのお正月のことです。仏教国のこの国は正月も仏教歴の新年に祝います。今年は4月14日 15日 16日でした。

1975年の革命以後、華やかな祭りは自粛され、正月の祝いもなかったそうですがラオス版ベレストロイカ、チンタナカーン・マイ（新思考）の改革運動につづく開放政策の影響で1987年から祭りが復活しました。特に旧王都、ルアン・パバーンのお祭りは華やかです。革命以前は二週間も続けて行なったそうです。復活後は三日間です。

ちょうど、私もラオスに滞在中でしたのでラオス人の友人の勧めでルアン・パバーンに行ってきました。ラオスは三つの王国が集まってできた国です。その象徴として三つの頭を持った象があります。ルアン・パバーンは一六世紀までは政治の中心でしたし革命までは王朝が続いていました。旧王宮は現在博物館として観光客に公開されています。

革命で王家の人々は国外に追われたようですが、この国は不思議なところで当時のプリンセスがルアン・パバーンの真ん中に、現在プリンセスホテルを運営しています。小さいけれどとても洒落た、よい雰囲気のホテルです。

正月の第一日目はメコン川対岸の洞窟に行き、中に安置されたたくさんの仏像に花と蠟燭をささげま

す。夜はミス・ルアンパバーンのコンテストです。ルアンパバーンは美人が多いと言われ、ミス・ルアンパバーンはそのまま国一番の美人と評価されます。コンテストは日本と違い水着などありませんがテレビでも放映されます。共産主義国家のラオスでは画期的なことです。

正月の第二日目は町のメインストリートをパレードします。朝から町中がソワソワしており、午後1時、金の仏像を先頭に50人くらい僧侶（ビルマの堅琴のお坊さんのスタイルです）が黒い傘をさして歩き始めると、民族楽器がにぎやかに演奏を始め、獅子舞みたいな赤いお面2人（男の祖先と女の祖先）と獅子のお面の3人が踊りながら続きます。その後を少数民族のグループ、80人近くの正装した若い女の子たち、そして動物をかたどった山車に乗った今年のミス・ルアンパバーンと長い行列が町の中央どおりの端からもうかた端へとゆっくり進みます。まわりで見ている町の人や観光の外国人もつられて、あとからついて歩いてしまいます。ラオスの四月は一年で一番暑いときです。その時期の午後ですから、大変な暑さですが、ラオスの正月は他の東南アジアの国々と同じ水かけ祭りでもあります。正月に時期はお互い水のかけあいです。パレードに私も参加しましたが終点のお寺に着いた頃には全身ずぶぬれでおまけに白い粉までかけられて散々な姿でした。とても楽しい一日でした。夜はお寺に行き、仏像を花びら入りの水で洗います。

第3日目は静かにすごすようでした。にぎやかな正月が終わりしばらくすると雨期になり、農業に忙しい日々が始まります。

= 紹介 =

## 帖佐 徹 (ちょうさ とおる)

JADDO代表・帖佐理子の夫

国立病院医療センター国際医療協力部



**私のひと言**

「二歳の誕生日を迎えられずに死ぬ子が概算で毎年四、五万人という。死因のほとんどは感染症です」。東南アジアでもかなり貧しい国に数えられるラオスの現状を、国立病院医療センター国際医療協力部の帖佐徹・国際協力専門官は、こう語る。

「途上国の医療は、マスの予防接種実施率。無料の（全体）なんです。国全体でこれだけ医療の効果を上げて、子供の死亡を大幅に減らされるか。それに対して日本の医療は「井戸のよる」。

「途上国の医療は、マスの予防接種実施率。無料の（全体）なんです。国全体でこれだけ医療の効果を上げて、子供の死亡を大幅に減らされるか。それに対して日本の医療は「井戸のよる」。

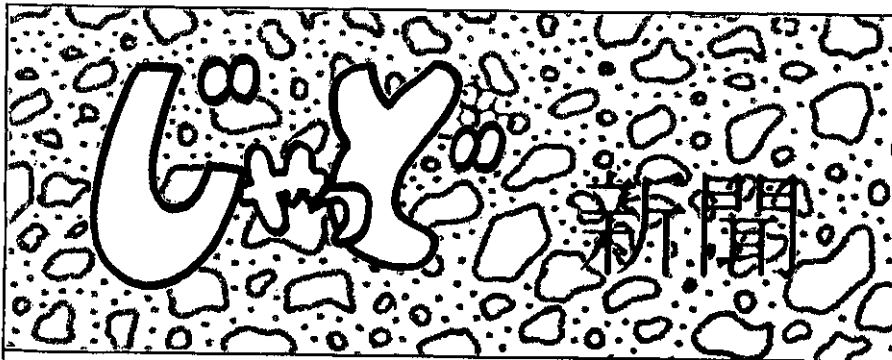
「途上国の医療は、マスの予防接種実施率。無料の（全体）なんです。国全体でこれだけ医療の効果を上げて、子供の死亡を大幅に減らされるか。それに対して日本の医療は「井戸のよる」。

昨年10月、共同通信社から取材を受けたもので。全国の地方新聞数社に掲載されました。

= 参考 =  
国際協力事業団=JICA (ジャイカ) : Japan International Cooperation Agency : 開発途上国の経済、社会の発展に寄与し、国際協力の促進を図るために、国と国との約束に基づく技術協力（政府ベースの技術協力）を中心とした業務を行なう機関

研修中の研修員	.....1,099名 (累計 111,588名)
派遣中の専門家	.....1,430名 (累計 35,714名)
派遣中の調査団	..... 182名 (累計 88,278名)
派遣中の海外青年協力隊	.....1,925名 (累計 12,449名)
JICA扱い海外移住者累計	..... (累計 73,219名)
活動中の海外開発青年	..... 96名

\* 累計 = 1952年4月1日からの合計人数 (1993年3月末現在)



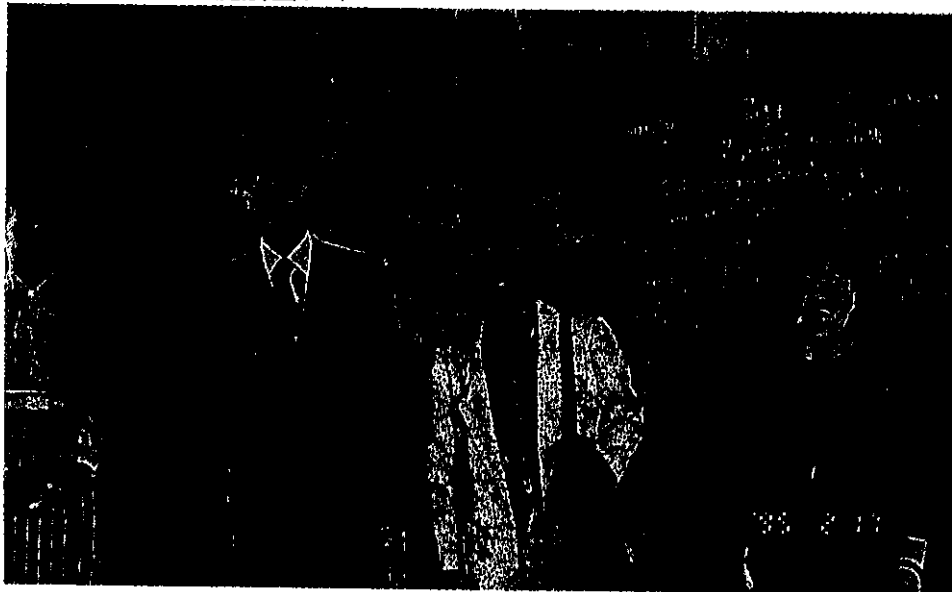
JADDO新聞 第10号  
1995年 3月 10日 新

JADDO

アジアのこども達を援助する会

事務局 ; 〒895 鹿児島県 川内市 神田町 11-20  
若松記念病院内 TEL. 0996-20-1402  
FAX 0996-23-6681

### JADDO視察団ラオスへ



1995年2月16日～  
20日、JADDO視察団を  
ラオスに迎えました。メンバ  
ーは次の4名でした。

JADDO副会長 帖佐宗親  
監事 若松郁子  
会員 帖佐久子  
会員 若松裕子

写真；左からホンケ小学校の  
校長先生、帖佐宗親氏、  
若松郁子氏、帖佐久子氏

- 16日 ビエンチャン到着
- 17日 ホンケ小学校視察  
現地スタッフと会合
- 18日 タラート小学校視察
- 19日 ドンカルム小学校
- 20日 ビエンチャン発

連日視察のスケジュールに未舗装道路を4輪駆動  
での移動、強い日差しなど視察団の心身に負担をか  
けてしまいました。この視察でJADDO会員の存

在といますかラオスのことを思ってくれる日本人  
がいるのだとラオスの人たちに実感してもらえたよ  
うです。

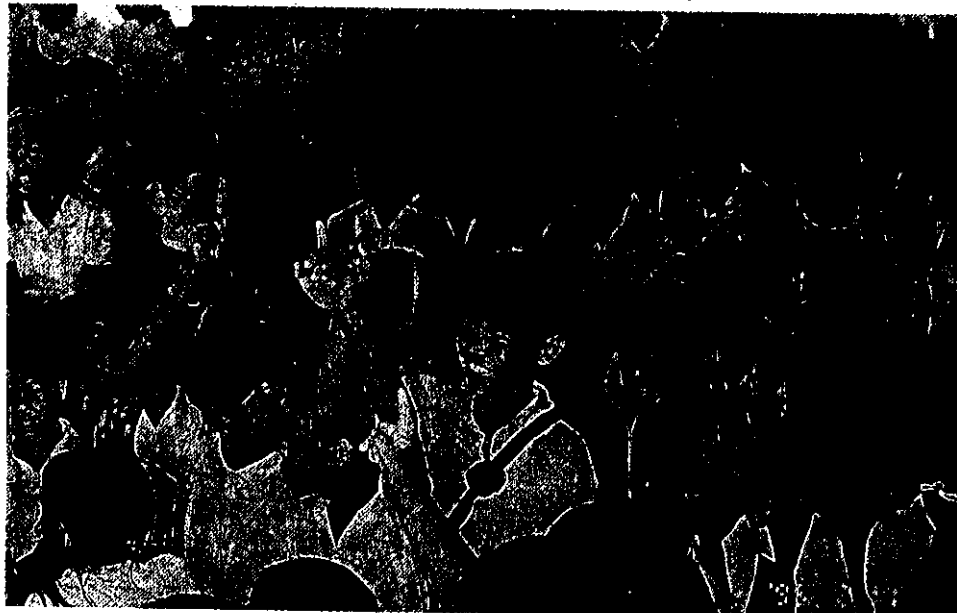
### ホンケ小学校 衛生教育視察

ビエンチャンの町の中心地にあるホンケ小学校の  
衛生教育を視察。

下痢の時の対応（経口補水液をのむ）と経口補水  
液の作り方（米と塩を使って作るもの。ユニセフの  
指導による）を帖佐理子JADDO会長がラオス語

と英語で説明。英語の部分はホンケ小学校PTA会  
長に通訳を頼みました。

ラオスで作ってもらったラオス語の説明と写真つ  
きのポスターは学校に1枚しか持って行けませんが  
校長先生が同じように描いて各教室に貼りまし  
ょうと言ってくださいました。



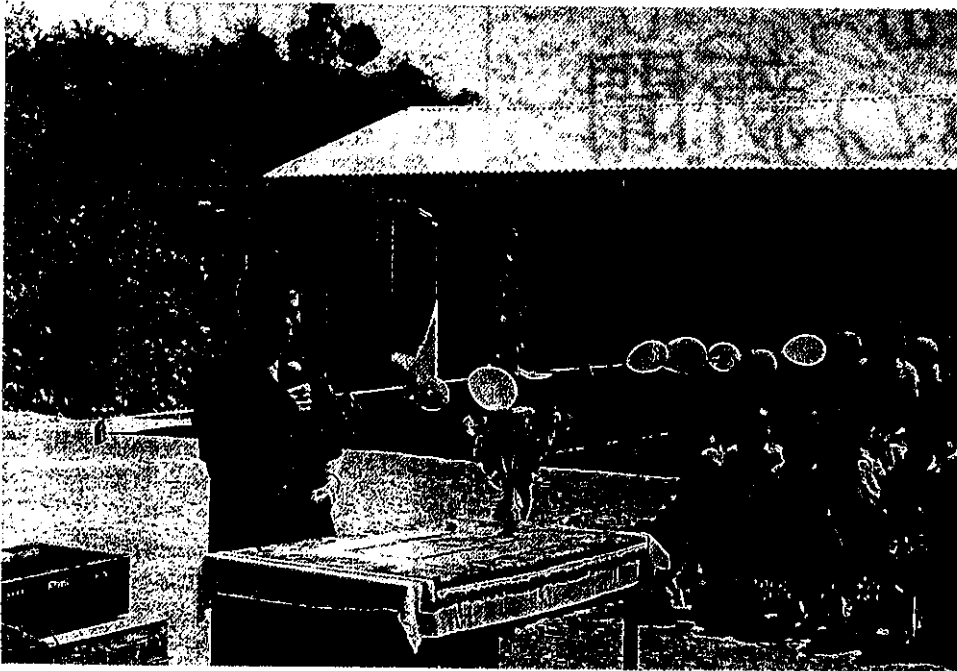
#### 写真

「今、下痢してる子は手を  
挙げて。」に答えて挙手して  
いる子供たち。健康調査の時  
に90人中22人（24%）  
が下痢をしていました。

下痢による脱水で命を落と  
す乳幼児も多いです。

# タラート村小学校 井戸、トイレ、図書室兼職員室 の 完成式

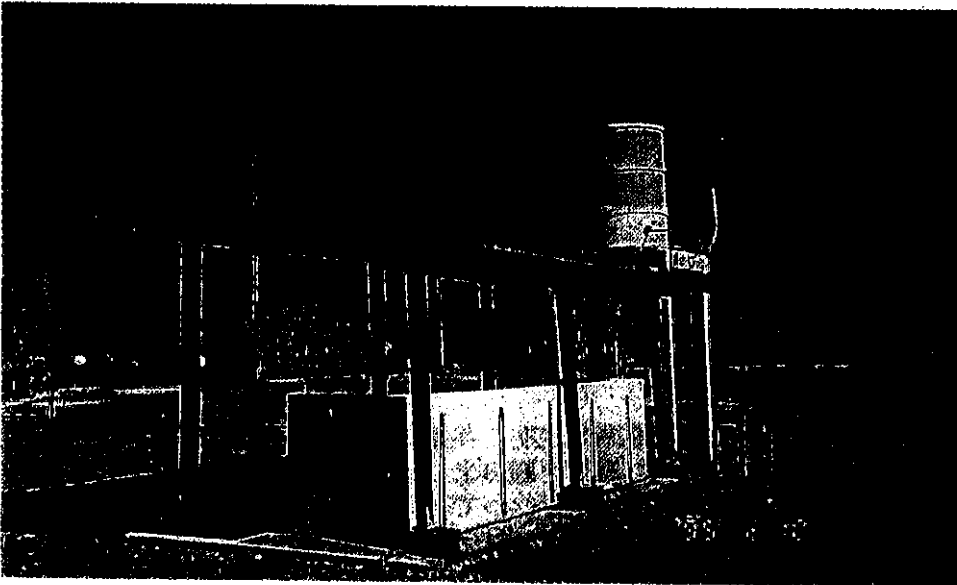
1995年2月18日



小学校の児童、先生方の他にPTA関係者、それにこの地方の郡知事、教育長まで参加しての大がかりな式典でした。

式典の様子はラオステレビで放送されました。

知事さんが祝辞を述べているところです。左側の2つのドアのある建物がトイレで、右側が図書室と職員室のある建物です。JADDOからの寄付であると屋根からの幕と建物入り口のはり紙に書いてあります。



井戸は右手の崖の下にあります。ポンプでドラム缶に汲み上げて水のみ場で使用します。井戸研究所の検査でこのまま飲料に使う問題の無い水とのことでした。



視察にあわせてJADDO会員（馬場寛利様）から届いた鉛筆等の文房具を渡しました。また、視察団からはバトミントンの道具、サッカーボールのプレゼントがありました。

お礼の花束を受ける視察団（若松裕子氏と帖佐宗親氏）